

高等学校 令和7年度

教科 国語

科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（1組：及川）（2組：及川）（3組：及川）（4組：柳川）（5組：及川）（6組：柳川）（7組：及川）

使用教科書：（「高等学校精選古典探究」 第一学習社）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・ 句・ 文	書	読					
1 学 期	【知識および技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、正確に読み取ろうとする。	・指導事項 1 助動詞や助詞、呼応の副詞や係り結び等の文法事項を理解し、文章の内容や登場人物の心情を捉え、古文の面白さを理解する。 2 文章の内容や登場人物の心情を本文をもとに理解する。 3 時代背景、文化への理解を深める。 ・教材等 『今物語』やさし蔵人 『莊子』曳尾於塗中	○	○	○	【知識および技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	【知識および技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性】 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとする。	・指導事項 1 助動詞や助詞、呼応の副詞や係り結び等の文法事項を理解し、文章の内容や登場人物の心情を捉え、古文の面白さを理解する。 2 文章の内容や登場人物の心情を本文をもとに理解する。 3 時代背景、文化への理解を深める。 ・教材等 『蜻蛉日記』うつろひたる菊 「雑説」	○	○	○	【知識および技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性】 進んで文章の読み方を確認し、学習課題に沿って、適切なアプローチで積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	【知識および技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとする。	・指導事項 1 助動詞や助詞、呼応の副詞や係り結び等の文法事項を理解し、文章の内容や登場人物の心情を捉え、古文の面白さを理解する。 2 文章の内容や登場人物の心情を本				【知識および技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読				

[illegible]